

水土里キッズのわくわく探訪inみたね

平成30年度農業農村整備事業広報奨励賞受賞

平成30年7月14日(土)に開催した「水土里キッズのわくわく探訪inみたね」が、平成30年度農業農村整備事業広報奨励賞を受賞し、3月7日(木)開催の「平成30年度東京フォーラム」(会場：東京都千代田区北の丸公園「科学技術館・サイエンスホール」)において表彰式が行われた。

この賞は、全国農村振興技術連盟が農業農村整備事業に係る**広報活動の面で特に顕著な功績のあった団体**に対し表彰するもので、今年度で28回目となる。



「水土里キッズのわくわく探訪 in みたね」について

- 開催月日：平成30年7月14日(土)
- 開催場所：秋田県山本郡三種町
- 参加者数：34名(児童・保護者)
- 協力団体：秋田県山本地域振興局農林部農村整備課、三種町農林課、水土里ネット秋田山本支部、秋田県能代地区土地改良区、三種町浜口土地改良区、水土里の広報委員

「わくわく探訪」は自然豊かで農業が盛んな秋田の魅力の後世まで伝えていくため、様々な体験を通して、県内各地の子どもや保護者に秋田の「農業・農村」に対する理解と関心を深めてもらうために平成9年度より毎年開催している。

22回目を迎える今年度の探訪は、山本郡三種町を舞台に、農業水利施設の見学及びメロンの収穫体験などを行った。



土地改良区の維持管理計画の変更手続が簡素化されます!

農林水産省では、維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、平成31年4月1日以降、土地改良区の組合員の同意省略の範囲を見直すこととしております。

これにより、土地改良区は、施行地域を変更する場合を除き、維持管理計画書の変更について組合員の同意徴収手続を省略することが可能となります。

今後、土地改良区において維持管理計画の変更手続が適切に行われるよう取組をお願いします。

平成31年2月
農村振興局
土地改良企画課

維持管理計画の変更手続の見直し (同意省略の拡大)について

1. 改正のポイント

維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、土地改良区の維持管理計画の変更手続については、施行地域を変更する場合を除き、組合員の同意手続を省略し、総会又は総代会の議決により、都道府県知事の認可を受けることができるようにします。

2. 改正の背景

土地改良区が維持管理計画の重要な部分を変更する場合には、組合員の2/3以上の同意を得る必要がありました。しかし、土地改良区の場合は、維持管理に関しては、総会又は総代会の議決を経ることで、直接又は間接に組合員の同意を得ていることから、組合員の意思確認手続が二重となっていました。

このため、土地改良区の維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、維持管理計画を変更する場合(施行地域を変更する場合を除く。)に必要とされていた組合員の同意手続を省略できるよう省令等の改正を行います。

3. 改正のスケジュール

平成31年4月1日施行予定

第3回水土里の広報委員会開催

3月5日（火）本会第1会議室にて今年度最後となる「第3回水土里の広報委員会」が開催された。

初めに本会水戸常務理事より「今回で3度目の広報委員会なので皆さんもだいぶ広報の中身が分かってきたのではないかと思います。今回は今度発刊する『水土里ネットだよりVol.3』についての意見交換を行い、より良い水土里ネットだよりにして頂きたい。また、**ゴミゼロ運動に関しては今年10年目**という節目の年でもあり、10年を1つの区切りとしてやってきたが、水土里ネットだけではできない部分もあるので、他の層へ展開する必要がある。水土里ネットの価値浸透のためには、実践することが大切であり、このことを念頭に長年継続してきた『わくわく探訪』が皆さんの協力のお陰で**今回NN機関の奨励賞を受賞**することができた。最後に、私は今年の3月で退任するが、今後、皆さんの力でより良い広報を作っていけるよう願っている」と挨拶があった。



今回の、前回の委員会で作された意見を踏まえ編集した「**水土里ネットだよりVol.3**」の実際の校正原稿を基に、広報委員の方々からそれぞれ意見を出し合ってもらった。

広報委員の方からは、「去年より写真が多く、字も大きいので全体的に見やすくなり内容も絞られているが、字の色や背景の色によっては見にくい箇所もある」といった意見や、「表紙のタイトルの文字の色を変えたらどうか」、「わくわく探訪のページの子どもの名前にもふりがなをつけたらどうか」など細かな部分まで意見を出してもらった。

話し合いの後、事務局から「**支部だより**」についての内容や更新方法、「**ゴミゼロ運動**」、今年度「水土里の広報委員会」活動のまとめに関して報告がなされた。

最後に本会水戸常務理事から「現在、水土里ネットの広報活動については、全国を見ても21世紀創造運動という名前で行っているところは少なくなったが、違う名前で活動しているところは沢山ある。そこで今回の水土里ネットだよりを**秋田県内全ての多面的活動組織に配って**



頂き、自分たちと同じ活動をしているところがあるということを知ってほしい」とお話しがあった。

今回は今年度最後の水土里の広報委員会だったが、今までの集大成として話し合いで出された意見やアイデアを「水土里ネットだよりVol.3」に反映させることができた。来年度も広報委員全員で一致団結し、より良い広報活動ができるよう盛り上げていきたい。



2018 水土里の語り部交流会 in やまもと

水土里の恵みを次の世代へ伝承
～能代・やまもと水物語～

1月23日(水)三種町琴丘総合体育館にて「2018 水土里の語り部交流会 in やまもと」が開催された。秋田県では平成23年から「語り部交流会」が毎年開催されており、今年で8回目を迎える。



▲小川支部長

開催にあたり、主催者代表 秋田県土地改良事業団体連合会山本支部 小川支部長より「この山本管内には青森県との県境にある白神山地があり、そこから流れる**清流**は山本の多くの農地に潤いを与えている。江戸時代

には何本もの水路を作る疏水工事が行われ、数え切れないほどの先人たちの想いが山本には伝わっている。偉大な先人たちに敬意を示すと共に、この交流会を有意義なものとし後世までこの交流会を受け継いでいきたい」と挨拶があった。



▲菅原徳蔵氏

始めに、**基調講演**としてふるさと水と土指 導員 あきた森づくり活動サポートセンター総括所長 菅原徳蔵氏より「**桃源郷のふるさと**」と題し、**白神山麓「桃源郷物語」、秋田藩初の穴堰・400年の歴史**

「岩堰物語」、農業農村の文化・「森岳歌舞伎」の3

つのテーマについて講演してもらった。

続いて、「**学校は地域の宝、地域は学校の宝**」について特定非営利活動法人 常盤ときめき隊 理事長 小林甚一氏、「**農業用施設の維持管理と地域との交流**」について水土里ネット能代地区 事業課 事業係 主事 菅原理央氏、「**真瀬溪谷山腹水路の保全と中山間地域(八森)の農業**」について株式会社真瀬ファーム 総務部長 山本優人氏の3名にそれぞれ**地域活動報告**について発表してもらった。

次に、**地域土地改良ヒストリー「砂丘地でのメロン栽培・複合経営への歩み**」について水土里ネット 浜口 前理事長 三浦政夫氏よりメロンとの出会いから、どのようにして「**プリンスメロン**」を地域に定着させたのか、そしてメロンとこの地域のために奮闘した経緯について説明があった。

最後に語りフォーラム「**能代・山本の水物語を次世代に継げる**」をテーマに特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター 奥ちひろ氏をコーディネーターに迎え、パネラーとして本日講演して頂いた4名の皆さんの他、オブザーバーとして秋田県農林水産部 農山村振興課 石川政策監も加わり意見交換を行った。



▲宮野次長

閉会のあいさつを秋田県山本地域振興局農林部 宮野次長より「秋田県の農業を守り育てている農村との関係は科学がいくら進歩しようとも決してなくしてはいけない貴重な関係だと思っている。

先人の教えを後世にまで語り継いで行くことを一人一人が肝に銘じてこれからの農業農村をますます発展させることが大事だ」とあいさつがあり、今年度の水土里の語り部交流会は締めくくられた。

(「2018 水土里の語り部交流会 in やまもと」については本会HPのブログでも詳しく掲載しております)